



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.14令和6年9月25日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

ボランティア活動

9月20日(金)の5校時に、第4回のボランティア活動が行われました。今回も各クラスで子供たちや担任の「やってみたい!」「やってみよう!」をもとに様々な活動が企画されました。1年生と4年生では「体力もりもり大作戦」と題し、来月に行われる体力テストに向けて、4年生がコーチ役となって1年生を教えるという活動が行われました。上級生が下級生を思いやって手を差し伸べ、アドバイスを送る。下級生が「自分たちも上級生になったら、周りに優しくできる人、頼りにされる人になりたい。」と感じられる。そのような心のバトンを交換するような活動であったと思います。



また、5年生が「グループホーム銀河」さんとの交流活動を行いました。入居されている方々との親睦を深めるために、「ペットボトルボーリング」や「福笑い」「手作りトランプ」「紙相撲」「ジェスチャーゲーム」といったレクリエーションを考えました。事前の準備から「入居されている方々に喜んでほしい。」という想いで準備やリハーサルを行っている子供たちの姿に感動しました。当日は、入居者の方々から「たくさんの元気をくれて、ありがとう!」といった言葉をかけていただきました。活動を終えて学校に帰ってきた子供たちは、みんなとても清々しく充実した表情をしていました。



このボランティア活動は、誰かに言われたことを、ただ懸命に取り組むというものではなく、自分たちが周りのために何ができるのかを考え、自分自身の「やってみたい」「やってみよう」を大切にしながら、自分たちで決めて活動していくというものです。これからの時代を生きていく子供たちには、自分の考えを大切に、周りを思いやりながら、自己決定できる人になってほしいと願っています。本校のボランティア活動はそのような目的、願いを込めて活動しています。

ご家庭でも話題のひとつにさせていただけたら幸いです。

心温まる瞬間

先日、本校職員がB棟(職員室がある棟)からA棟(高学年教室のある棟)へ移動していると、ある6年生の男子児童が通用口で立ち止まっていた。その児童はなぜ立ち止まっていたのかというと、職員が通用口に来るのを見て、入り口を開けて待っていてくれたのです。そして職員に向けて会釈をしながら挨拶をしていました。相手を思いやるさりげない行動に、その職員も感激をしていました。本校には、6年生の児童だけではなく、他の学年にも同様の振る舞いができる児童がたくさんいます。相手への温かい心遣いや思いやりを行動で表現できる明神小の子供たちは、本当に素晴らしいと思います。